

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年8月10日

上場会社名 カワセコンピュータサプライ株式会社 上場取引所 大
 コード番号 7851 URL <http://www.kc-s.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川瀬 康平
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役営業開発部長兼 (氏名) 糸川 克秀 (TEL) 06(6222)7474
 最高財務責任者
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	945	△0.3	37	213.4	53	41.0	39	14.5
24年3月期第1四半期	947	6.8	12	—	38	—	34	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
25年3月期第1四半期	8.12		—					
24年3月期第1四半期	7.09		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	4,708	3,569	75.8
24年3月期	4,747	3,582	75.5

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 3,569百万円 24年3月期 3,582百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,728	△0.6	24	—	33	151.7	24	—	4.96
通期	3,600	3.1	50	94.3	70	24.1	50	△45.6	10.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期1Q	5,160,000株	24年3月期	5,160,000株
25年3月期1Q	321,760株	24年3月期	321,760株
25年3月期1Q	4,838,240株	24年3月期1Q	4,838,719株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8
4. 補足説明	8
(1) 役員の変動	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、東日本大震災の復興関連需要などから国内需要が堅調に推移しており、緩やかに持ち直しつつあるものの、欧州債務危機や長期化する円高などから依然として先行きは不透明な状況となっております。

当ビジネスフォーム業界におきましても、依然総需要の減少や価格競争の激化が続いており厳しい状況が続いております。

このような状況下、営業部門におきましては、金融・IT関連を中心に定期案件獲得に向けての情報収集活動、中央官庁をはじめ市町村、外郭団体や基盤となる新規取引先の開拓及び既存取引先への取引深耕を中心に活動を展開いたしました。

生産部門におきましては印刷・情報部門の人員共有化による生産効率の向上や、資材の購入先や購入方法の見直しによる材料費の軽減、自社生産比率向上の推進及び品質向上のための各工程でのチェック体制の確立を中心に活動をいたしました。

その結果、当第1四半期累計期間における業績は売上高は945百万円（前年同期は947百万円）、営業利益は37百万円（前年同期は12百万円）、経常利益は53百万円（前年同期は38百万円）、四半期純利益は39百万円（前年同期は34百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ビジネスフォーム事業

景気低迷による総需要の減少、価格競争の激化の影響がありましたものの、売上高632百万円（前年同期は600百万円）、セグメント利益は92百万円（前年同期は52百万円）の利益となりました。

② 情報処理事業

幅広く新規案件獲得に向け活動を行いましたが、既存取引先の需要減の影響により、売上高312百万円（前年同期は347百万円）、セグメント利益は33百万円（前年同期は63百万円）の利益となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末における流動資産は前事業年度末と比べ大きな増減はありません。

固定資産は前事業年度末と比べ38百万円減少し、2,113百万円となりました。これは主に「有形固定資産」が24百万円、「無形固定資産」が4百万円、「投資その他の資産」が9百万円それぞれ減少したことによるものです。

流動負債は前事業年度末と比べ14百万円減少し、878百万円となりました。これは主に「買掛金」が31百万円、「賞与引当金」が20百万円それぞれ減少した一方で、「その他」に含まれる未払金が41百万円増加したことによるものです。固定負債は前事業年度末と比べ11百万円減少し、260百万円となりました。これは主に「その他」に含まれる「リース債務」が3百万円、「長期割賦未払金」が10百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産の部は前事業年度末と比べ13百万円減少し、3,569百万円となりました。これは主に利益剰余金が9百万円減少したことによるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年5月11日に開示した業績予想につきまして現時点における修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

当該変更が、当第1四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に及ぼす影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,855,287	1,851,801
受取手形及び売掛金	648,516	622,759
商品及び製品	31,022	33,493
仕掛品	3,996	6,521
原材料及び貯蔵品	27,385	31,401
その他	29,330	49,355
貸倒引当金	△137	△133
流動資産合計	2,595,401	2,595,199
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	451,887	443,422
土地	533,457	533,457
その他(純額)	474,419	458,819
有形固定資産合計	1,459,764	1,435,699
無形固定資産		
投資その他の資産	103,901	98,911
固定資産合計	588,858	578,947
資産合計	2,152,524	2,113,559
負債の部		
流動負債		
買掛金	208,978	177,874
短期借入金	406,640	406,640
未払法人税等	13,121	7,891
賞与引当金	44,329	24,041
その他	220,092	262,067
流動負債合計	893,162	878,515
固定負債		
長期借入金	6,720	5,060
退職給付引当金	37,861	40,451
役員退職慰労引当金	30,046	31,949
その他	197,137	182,829
固定負債合計	271,764	260,290
負債合計	1,164,926	1,138,805

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,226,650	1,226,650
資本剰余金	1,172,655	1,172,655
利益剰余金	1,260,051	1,250,956
自己株式	△80,211	△80,211
株主資本合計	3,579,145	3,570,050
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,853	△98
評価・換算差額等合計	3,853	△98
純資産合計	3,582,998	3,569,952
負債純資産合計	4,747,925	4,708,758

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	947,819	945,065
売上原価	707,144	688,829
売上総利益	240,675	256,236
販売費及び一般管理費	228,567	218,289
営業利益	12,107	37,946
営業外収益		
受取利息	384	57
受取配当金	935	2,447
助成金収入	30,282	13,821
その他	3,616	4,561
営業外収益合計	35,218	20,888
営業外費用		
支払利息	3,706	3,705
投資有価証券評価損	3,870	—
為替差損	1,007	1,198
その他	544	72
営業外費用合計	9,128	4,977
経常利益	38,196	53,857
特別利益		
固定資産売却益	585	493
特別利益合計	585	493
特別損失		
投資有価証券評価損	43	9,179
損害賠償金	2,206	—
特別損失合計	2,249	9,179
税引前四半期純利益	36,532	45,172
法人税、住民税及び事業税	2,217	5,885
法人税等合計	2,217	5,885
四半期純利益	34,315	39,286

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	ビジネスフォー ム事業	情報処理事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	600,487	347,331	947,819	—	947,819
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	600,487	347,331	947,819	—	947,819
セグメント利益	52,935	63,173	116,109	△104,001	12,107

(注) 1. 「調整額」の区分は全社費用を記載しております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期財務諸表の営業利益と調整を行っています。

II 当第1四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	ビジネスフォー ム事業	情報処理事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	632,993	312,071	945,065	—	945,065
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	632,993	312,071	945,065	—	945,065
セグメント利益	92,329	33,565	125,894	△87,948	37,946

(注) 1. 「調整額」の区分は全社費用を記載しております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。当該変更が、当第1四半期累計期間のセグメント利益に及ぼす影響は軽微であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足説明

(1) 役員の変動

① 役職の変動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
取締役営業本部長	取締役東京営業部長	吉村 泰明	平成24年7月6日
取締役営業開発部長兼 最高財務責任者	営業本部長	糸川 克秀	平成24年7月6日